２３年度事業の承認、有意義な研修を実施

府市町村保健師協議会総会・研修会

府市町村保健師協議会総会・研修会は、５月１２・１３日の両日、府国保連合会で開催され、およそ７０名の保健師が参加した。

開会にあたり、西川会長は人材育成が課題となっていることを示し、なりたい保健師像を持つことが重要であると挨拶した。また、来賓の京都府健康対策課の西垣課長は、この研修会を有意義にしてほしいと挨拶した。

総会では、平成２２年度事業報告及び決算報告、平成２３年度事業計画案及び予算、役員改選案について説明し、原案どおり可決・承認された。

研修会では、障害者自立支援施設ＮＰＯコラボねっとの萩尾藤江代表理事が、「保健師必聴！乳幼児の発達について」～発達課題と発達検査の意義について～」と題して、より効果的な健診方法等について講演した。

２日目の午前は、「聞いてためになる！！保健師としての地区診断～大学院修士課程保健師コースの学生実習を通して～」というテーマで、井手町保健センターの野田美恵係長、さいたま市緑区役所保健福祉部保健センターの田中千佳保健師が講演し、地区特性にあった保健事業を展開することなどといった、内容を踏まえてグループワークを行った。

午後は特定非営利活動法人活き粋あさむしの三上公子保健師が「保健師として育ち合うために～全世代の保健師に今だから伝えたい。世代別、保健師へのメッセージ～」と題して、本当に必要な事業は何か考えることでニーズを見出し活動することの重要性を説明した。